

米国ライフライン好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07

月次レポート

2020年2月号

(2020年2月28日現在)

愛称: **要**

単位型投信/海外/債券

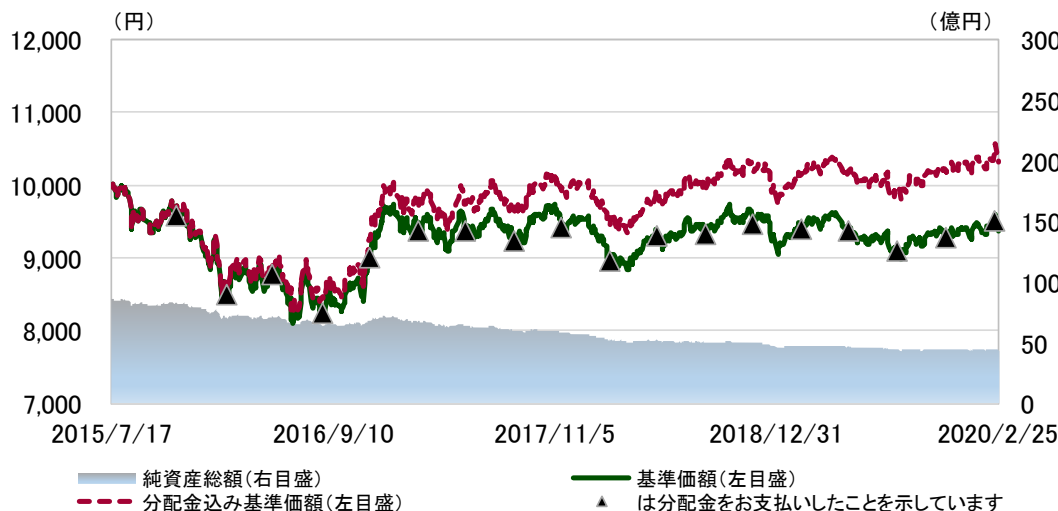
ファンドの特色

- 1 米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。
- 2 信託期間が約5年の単位型投資信託です。投資する債券は、当ファンドの信託期間終了前に満期を迎える債券に限ります。
- 3 基準価額(支払済の収益分配金を含みません)が12,000円以上となった場合には、保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに償還します。
- 4 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 5 年4回(2、5、8、11月の各20日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として利子/配当等収益(インカム収入)を中心に安定的な分配金の支払いを目指します。
- 6 債券の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー(PineBridge Investments LLC)に外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。

ファンドデータ

設	定	日	2015年7月17日							
償	還	日	2020年7月21日							
決	算	日	2、5、8、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)							
基	準	価	額	9,365 (円)	純	資	産	総	額	44 (億円)

基準価額・純資産総額の推移(2015/7/17~2020/2/28)



騰落率

	騰落率
過去1ヵ月	0.4%
過去3ヵ月	0.1%
過去6ヵ月	3.6%
過去1年	0.9%
過去3年	5.9%
設定来	3.0%

* 騰落率は分配金込み基準価額を用いて計算しています。

* 上記の「分配金込み基準価額」は過去に支払った分配金を再投資したと仮定して計算していますので、実際の基準価額とは異なります。なお、再投資する際に税金は考慮していません。基準価額は信託報酬(年1.23%+消費税)控除後のものです。

分配の実績(1万口あたり、課税前)

2018/5/21	2018/8/20	2018/11/20	2019/2/20	2019/5/20	2019/8/20	2019/11/20	2020/2/20	直近8期合計	設定来合計
50円	50円	50円	50円	50円	50円	40円	40円	380円	880円

* 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

■ 当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■ 当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■ 投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

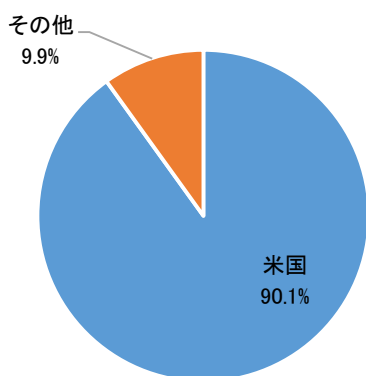
組入状況

◆ポートフォリオの特性値

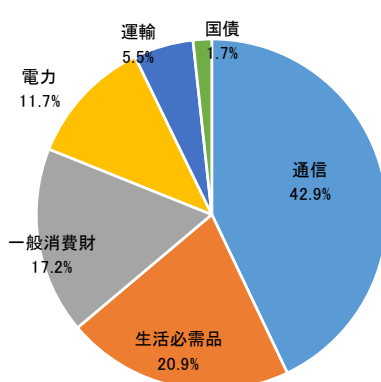
有価証券組入比率	97.2%	加重平均直接利回り	3.70%
加重平均単価(額面100に対して)	100.12	加重平均最終利回り	2.67%
加重平均デュレーション	0.15	加重平均格付け	BBB-

* キャッシュ等は平均値算定データから除いています。上記の単価、デュレーション、利回り計算は、委託会社の見解に基づいて行っています。平均格付とは、基準日時点で保有している債券にかかる信用格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる信用格付ではありません。

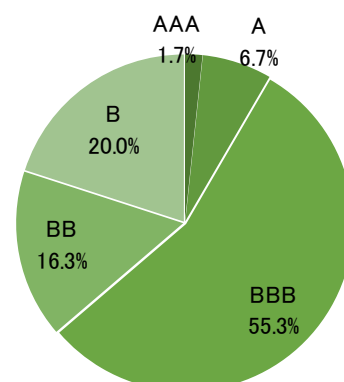
◆国別構成比



◆業種別構成比



◆格付別構成比



* 業種別構成比はブルームバーグ・バークレイズ指数の業種を基にパインブリッジ・インベストメンツが作成しています。
* 格付別構成比は、国際的な格付機関の格付を基に当社基準で算出しています。
* 構成比は、四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 27 銘柄)

銘柄名	通貨	業種	クーポン	償還日	繰上償還可能日	格付け		時価	直接利回り	最終利回り	構成比率
						S&P	Moody's				
① AMERICAN AIRLINES GROUP	米ドル	運輸	4.625%	2020/3/1	-	BB-	B1	100.00	4.63%	-	5.4%
② AT&T INC	米ドル	通信	2.891%	2020/6/30	-	BBB	Baa2	100.30	2.88%	1.75%	5.3%
③ CENTURYLINK INC	米ドル	通信	5.625%	2020/4/1	-	B+	B2	100.19	5.61%	-	5.3%
④ DISCOVERY COMMUNICATIONS	米ドル	通信	2.800%	2020/6/15	2020/5/15	BBB-	Baa3	100.12	2.80%	-	5.2%
⑤ VERIZON COMMUNICATIONS	米ドル	通信	2.233%	2020/5/22	-	BBB+	Baa1	100.10	2.23%	-	5.2%
⑥ ABBVIE INC	米ドル	生活必需品	2.500%	2020/5/14	2020/4/14	A-	Baa2	100.08	2.50%	-	5.2%
⑦ ALLERGAN FUNDING SCS	米ドル	生活必需品	3.000%	2020/3/12	-	BBB	Baa3	100.03	3.00%	-	5.2%
⑧ DISH DBS CORP	米ドル	通信	5.125%	2020/5/1	-	B-	B1	100.00	5.13%	-	5.2%
⑨ CVS HEALTH CORP	米ドル	生活必需品	3.125%	2020/3/9	-	BBB	Baa2	99.97	3.13%	-	5.2%
⑩ TEVA PHARMA FIN IV LLC	米ドル	生活必需品	2.250%	2020/3/18	-	BB	Ba2	99.75	2.26%	-	5.1%

* 構成比率は、作成日時点の組入銘柄の時価総額に対する評価額を三菱UFJ銀行仲値を用いて計算しています。(米ドル: 109.43 円)
* 時価は、価格情報会社の提供する価格を表示しています。
* 直接利回りは、クーポンを時価で除した数値です。
* 最終利回りは、ブルームバーグのデータを基に算出しています。
* 償還日(繰上償還可能日)までの期間が短いと利回りのブレが大きくなる可能性があるため、償還日(繰上償還可能日)までの期間が3ヵ月未満の銘柄は、最終利回りを表示していません。
* 30日前に通知することで、随時繰上償還が可能となっています。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

米国ライフライン好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07

月次レポート

2020年2月号

(2020年2月28日現在)

愛称: **要**

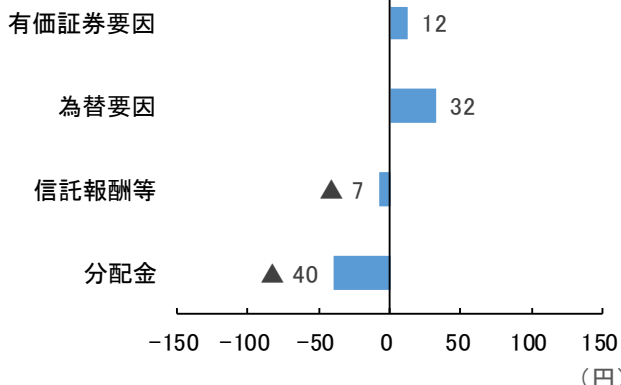
単位型投信/海外/債券

基準価額の騰落額要因分析

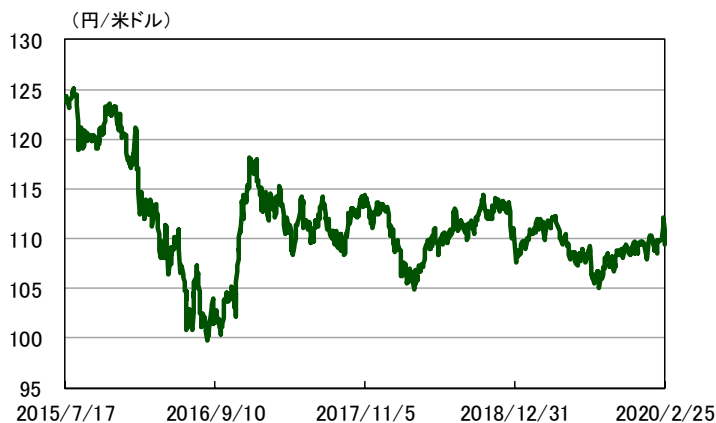
<ご参考> 為替の推移

月間の騰落額

-3 円



円/米ドルの推移 (2015/7/17~2020/2/28)



データ出所: 三菱UFJ銀行仲値

* 上記の騰落額要因分析は、委託会社独自の見解に基づいて信託財産ベースで行った試算です。また、為替要因は主として為替の変動によるものです。

運用状況のご報告

<市場環境>

新型コロナウイルスの感染拡大懸念に起因する1月半ばの市場の下落を受け、2月上旬の時点では市場は経済的な影響は限定的との見方が大勢を占めていました。しかしながら、足もとのさらなる感染拡大により、世界的なパンデミックへの懸念が高まり、市場は全般的に売りに転じ、米国10年債利回りは記録的な低水準となりました。この新型コロナウイルスは、世界のGDP成長率を一時的に押し下げる可能性が高いものの、経済的な影響は短期的となり、追加の景気刺激策によってさらに限定的になると考えられるため、引き続き慎重ながらも楽観的な見方を維持しています。もし経済状況が悪化した場合も、米国好利回り債券市場のファンダメンタルズは底堅いことからデフォルト率は低水準を維持するものと考えます。

このような環境を背景に米国債利回りは2月も低下し、5年債は0.34%、10年債は0.32%低下しました。Bloomberg Barclays US HY Indexのオプション調整後スプレッド(OAS)は拡大し、月末時点では461となりました。

2月の為替市場は、中旬までは中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による影響は限定的との見方に伴い円が米ドルに対し弱含んだものの、下旬にかけては世界的な規模で感染が拡大していることが伝わり、リスク回避姿勢の強まりなどを背景に円が買われましたが、前月末比では円安米ドル高となりました。

<運用報告>

保有している米ドル建て好利回り債券価格が下落した一方、為替が円安米ドル高となったことに加え、保有債券からのインカム収入により分配金落ち前基準価額は上昇しました。セクター別では運輸やコミュニケーションが相対的には堅調でした。

なお、2月20日に決算を迎え、分配金は期中に獲得した利子配当等収益を中心に、40円(1万口あたり、課税前)とさせていただきます。

<今後の見通しと運用方針>

相対的に緩やかながらも良好なマクロ経済環境となる中、米国は成長鈍化が見られる一方、本格的な景気後退ではないと考えられることから米国好利回り債券市場のファンダメンタルズは堅調に推移するものと見ています。企業の債務返済の負担が相対的に低いことが、デフォルト率の低下につながっており、この傾向は今後も続くことが予想されます。ファンダメンタルズは好調であるにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大は市場へのリスク要因となっています。景気後退が長期化する可能性は低いと考えているものの、景気減速による収益低下が米国好利回り債券市場に悪影響を及ぼす可能性があります。また、引受基準や格付基準の緩和はリスクを伴うとともに、米国の大統領選挙やサウジアラビア・ロシア間の石油価格競争などの地政学的リスクも顕在化しています。市場の変動の高さはまだ初期段階にあると考えており、2020年第1四半期の終わりにはさらなる変動が高まる局面も予想されます。FRB(米連邦準備制度理事会)はいつでも支援をする準備ができていることを示唆していますが、金利の低下がサプライチェーンの動きを加速させることはないと考えます。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念が市場のバリュエーションをリセットさせ、消費、旅行・レジャーセクターに何らかの投資機会を生み出していますが、2020年第2四半期には経済全体へのマイナスの影響は和らぐものと見ています。これらの市場環境を背景にポートフォリオを大きく変更することは想定していませんが、米国債利回りのさらなる低下には注意が必要です。

当ファンドは、引き続き、主として米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建ての好利回り債券への投資を通じて、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の着実な成長を目指します。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

リスクおよび留意点

当ファンドは、主として米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券(ハイ・イールド債券)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

当ファンドが有する主なリスク要因は、以下の通りです。

① 価格変動リスク

当ファンドの主要投資対象である債券の価格は、一般に、経済・社会情勢、企業業績、発行体の信用状況、経営・財務状況ならびに市場の需給等の影響を受け変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額を下落させる要因となります。

② 為替変動リスク

当ファンドは、外貨建の債券を主要投資対象とし、原則として為替ヘッジを行わないため為替変動リスクを伴います。外国為替相場は、金利変動、政治・経済情勢、需給その他の様々な要因により変動します。この影響を受けて外貨建資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。一般に、円安は基準価額の上昇要因に、円高は基準価額の下落要因となります。

③ 金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

④ 信用リスク

債券の発行体の財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利子・元本・償還金の支払不能または債務不履行(デフォルト)等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。なお、当ファンドが投資対象とする好利回り債券(ハイ・イールド債券)は、投資適格債券と比較して信用リスクが高くなる傾向があります。

⑤ 流動性リスク

組入有価証券等を売しようとする場合に、市場の需給状況により、希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け、基準価額が下落することがあります。なお、当ファンドが投資対象とする好利回り債券(ハイ・イールド債券)は、市場における流動性が比較的低いため、当ファンドは流動性リスクの影響を相対的に大きく受ける可能性があります。

⑥ 特定の業種への集中投資リスク

当ファンドは、主としてライフライン関連企業が発行する好利回り債券(ハイ・イールド債券)に集中的に投資するため、個別企業の業績・財務状況等や、ライフライン関連企業を取巻く規制・情勢等の変化により大きな影響を受けます。したがって、幅広い業種に分散投資するファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。また、発行企業の経営不安、倒産等の場合には、当該債券の価格が大きく下落する可能性があり、当ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

※ 収益分配金に関する留意点

収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

米国ライフライン好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07

愛称: **要**
単位型投信/海外/債券

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

お申込みメモ

- 信託設定日: 2015年7月17日(金)
- 換金単位: 1口以上1口単位
- 換金価額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
※ファンドの基準価額は1万口あたりで表示されます。
- 換金代金のお支払い: 原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間: 原則として毎営業日の午後3時までに販売会社が受付けた換金のお申込みを当日受付分とします。
- 申込受付中止日: ニューヨーク証券取引所の休業日、またはニューヨークの銀行休業日のいずれかと同じ日付の場合
- 換金制限: ありません。
- 換金申込受付の中止および取消し: 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた換金のお申込みを取消すことがあります。
- 信託期間: 2020年7月21日(火)までの約5年
- 繰上償還
 - ・ 基準価額(支払済の収益分配金を含みません)が12,000円*以上となった場合には、安定運用に切り替えた後、ファンドを繰上償還します。 *1万口あたり
 - ・ 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
- 決算日: 年4回(2、5、8、11月の各20日、休業日の場合は翌営業日)
※初回の決算日は2015年11月20日(金)とします。
- 収益分配: 毎決算時に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。収益分配金は、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等、委託会社の判断により、分配を行わないこともあります。
- 課税関係: 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称: NISA(ニーサ)」の適用対象です。
※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- 購入時に直接ご負担いただく費用
- 購入時手数料: 当ファンドは単位型となりますので、2015年7月17日以降の新規及び追加のお買付けはできません。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
- 換金時手数料: かかりません。
- 信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額とします。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
- 運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.353%(税抜1.23%)の率を乗じて得た額とします。
- 監査報酬: 上記運用管理費用の中に含まれています。
- その他費用: 有価証券売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎決算時ならびに換金時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用は、その都度信託財産から支払われます。
※運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。
※信託財産留保額は償還時にはかかりません。
※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

税金

個人受益者については、収益分配時に収益分配金に対して、換金時および償還時に差益(譲渡益)に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第307号
加入協会/一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社

投資顧問会社: パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー

販売会社: 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関

投資信託に関する留意点

- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

■ 当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■ 当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■ 投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

<受益者の皆様へ>

米国ライフライン好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07

愛称: **要**
単位型投信/海外/債券

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

販売会社情報(銀行、証券会社別50音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第5号	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社	金融商品取引 業者	関東財務局長 (金商)第2336号	○	○	○

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
<https://www.pinebridge.co.jp/>
TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。